**「様式３－１（イ）－非認証店」（１日あたりの売上高が７万５，０００円超の場合）**

**申請する店舗（平戸市内のみ）の情報**

**【開店１年以上の非認証店舗用】**

|  |  |
| --- | --- |
| 法人名  または個人事業主名 |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ |  | | | |
| 店舗名 |  | | | |
| 店舗  所在地 | 平戸市 | | 店舗の種類  許可証に記載の「種別」または「業  種細分名」 |  |
| 該当する取組内容の□に✔を付けてください | □ | 通常営業は２０時以降も営業していますが、要請期間中全ての期間において、２０時までに営業時間を短縮（終日休業を含む）し、酒類の提供は終日行わないようにしました。 | | |
| □ | 通常営業は２０時以降は営業していませんが、予約等によっては２０時以降でも営業していましたが、要請期間中全ての期間において、予約等を含め２０時までに営業時間を短縮（終日休業を含む）し、酒類の提供は終日行わないようにしました。 | | |
| 備考 | ※通常の営業時間とは異なり、**令和３年１０月６日以降**で予約等により２０時以降に営業している場合は、直近の営業日等を下記にご記入ください。  １）２０時以降営業した日はいつですか？（直近日）：令和　　年　　月　　日  ２）何時まで営業しましたか？（24時間表記）：　　時　　分  ３）その際の来店客数は何人ですか？：　　　人  ※上記の内容について、２０時以降の営業実績等がわかる証拠書類を提出してください。 | | | |
| 店舗ごとの支給額計算 | | | | |

|  |
| --- |
| ◎中小企業（個人事業主も含む）の場合  **□Ｂ．前年、前々年または前々々年の２月～３月における１日あたりの売上高が７万５，０００円超**  **２５万円以下**（飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）を**添付**してください）  （１）前年、前々年または前々々年の２月～３月における１日あたりの売上高を算定  ・前年、前々年または前々々年の２月～３月の売上高合計　（Ａ）　　,　　　,　　　円  ・（Ａ）÷ ５９日（６０日） ＝ （Ｂ）　　,　　　,　　　円(１円未満の端数は切り上げ)  ※２０２０年を選択する場合は閏年のため６０日となります  （２）１日あたりの支給単価を決定 （１日あたりの売上高の４割）  　・（Ｂ）× ０.４ ＝　（Ｃ）　　,　　　,０００円(千円未満の端数は切り上げ)  （３）店舗の支給額  ・（Ｃ） × ２１日 ＝　　　,　　　,０００円  **□Ｃ．前年、前々年または前々々年の２月～３月における１日あたりの売上高が２５万円超**  （飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）を**添付**してください）  （１）前年、前々年または前々々年の２月～３月における１日あたりの売上高を算定  　・前年、前々年または前々々年の２月～３月の売上高合計　（Ａ）　　,　　　,　　　円  　・（Ａ）÷ ５９日（６０日） ＝ （Ｂ）　　,　　　,　　　円(１円未満の端数は切り上げ)  ※２０２０年を選択する場合は閏年のため６０日となります  （２）１日あたりの支給単価を決定  ・（Ｂ）が ２５０,０００円超　→１日あたりの支給単価は、１０万円  （３）店舗の支給額　２１０万円 （１０万円 × ２１日）  ◎大企業の場合　※中小企業（個人事業主も含む）も選択できます。  **□Ｄ．前年、前々年または前々々年との比較による本年２月～３月の１日あたりの売上高減少額か**  **ら算出**（飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）を**添付**してください）  （１）１日あたりの支給単価の上限を算定  　　・前年、前々年または前々々年の２月～３月の売上高合計　（Ａ）　　，　　，　　円  ・（Ａ）÷５９日（６０日） ＝ （Ｂ）　　，　　，　　円　(１円未満の端数は切り上げ)  ※２０２０年を選択する場合は閏年のため６０日となります  　　・（Ｂ）× ０.４ ＝ （Ｃ）　　　,０００円　(千円未満の端数は切り上げ)  ・（Ｃ）と２０万円のうち、いずれか低い金額　（Ｄ）　　　,０００円  （２）１日あたりの減少額を算定  　　・前年、前々年または前々々年の２月～３月の売上高合計　（Ａ）　　，　　，　　円  ・（Ａ）÷５９日（６０日） ＝ （Ｂ）　　，　　，　　円　(１円未満の端数は切り上げ)  ※２０２０年を選択する場合は閏年のため６０日となります  ・本年の２月～３月の売上高合計　（Ｅ）　　，　　，　　円  ・（Ｅ）÷５９日 ＝ （Ｆ）　　，　　，　　円　(１円未満の端数は切り上げ)  ・（Ａ）－（Ｆ）＝（Ｇ）　　，　　，　　円  （３）１日あたりの支給単価を決定  ・（Ｇ）× ０.４ ＝（Ｈ）　，　　　,０００円　(千円未満の端数は切り上げ)  　　・（Ｄ）と（Ｈ）のうち、いずれか低い金額　（Ｉ）　，　　　,０００円  （４）店舗の支給額  　　・（Ｉ） ×２１日 ＝ 　　　，　　　,０００円 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事務局使用欄 | | | | | | | | | | |
| 区分 | １日あたりの支給単価 | | | | | | | | | |
| Ｂ　Ｃ　Ｄ |  | **,** |  |  |  | **,** | **０** | **０** | **０** | **円** |
| 店舗の支給額 | | | | | | | | | |
|  | **,** |  |  |  | **,** | **０** | **０** | **０** | **円** |